

インターネットの犯罪に気を付けて 全校生徒へ情報モラル特別授業

7月12日、西合志南中学校で『情報モラル特別授業』を実施しました。授業では、はじめに県警のサイバー犯罪対策課と少年保護対策室の現役警察官2人が講話を行ないました。国内で実際に起きた事件を説明し、SNSや生成AIを利用する際の注意点や、県内で増えている薬物の危険性を訴えました。(写真①～③)講話を聞いた^{なかしま な お}中島凧音さん(中3)は「自分はだまされない・関係ないと思っても、手口や相談先を知っておくことが大切。生成AIはこれからもっと普及すると思うので、ニセ情報に気を付け、使う側になった

ときは慎重に扱おうと思います」と話しました。

真剣に話を聴いた生徒たちは、教室でタブレット端末を使って電子ライブラリーを閲覧。この日のために特別に準備した『情報モラルクイズ』に挑戦し、講話の内容を復習しました。(写真④⑤)

この特別授業は、電子ライブラリー利活用支援の一環で、市と県警が連携し実施しました。電子ライブラリーについては、市ホームページをご覧ください。



▲電子ライブラリー

